

《対策のポイント》 ・沿岸地域資源を活用して推進

- 藻場や干潟などの漁場環境保全活動の取組支援
- 水産物の需要創出(学校給食を生かした食育、地産地消推進など)
- 漁業と洋上風力発電との共生を目指す

・内水面漁業を生かした地域の振興と内水面の有する多面的機能の発揮

《目標》 漁村地域の活性化

〈対策の内容〉

1 干潟、藻場の保全活動の取組を支援

- (1) 干潟の保全：漁場の改善、害敵生物除去、アサリ天然発生稚貝の保護 など
- (2) 藻場の保全：植食性魚類やガンガゼなど食害生物の除去、母藻の設置 など

2 地域資源を生かした交流人口の増加

- ・四季折々の水産物や水産加工製品、地域の文化や芸術、漁業と調和した海洋レクリエーション等、地域資源に関する情報発信による漁村の活性化

3 学校給食への地元水産物の供給による食育推進など

4 漁業と洋上風力発電の共生

- ・漁業者の理解のもと、漁業と調和のとれた洋上風力発電施設の整備が進むよう対応していきます

5 内水面漁業を活用した地域振興と内水面の有する多面的機能の発揮

- ・シラスウナギ、ホンモロコなどの漁業・養殖振興
- ・漁場環境の保全と都市住民との交流促進

〈対策のイメージ〉

干潟の保全



稚貝の保護(囲い網)



アサリ稚貝

藻場の保全



食害生物の除去



種の供給



アラムの移植

交流人口の増加と食育



ダイビング事業



イセエビのいろどりグラタン
(旭市立干潟小学校)

漁業と洋上風力発電の共生

- ◆ 本県の海の恵みを生かした水産の取組
- 洋上風力発電と漁業との共生
- 洋上風力発電と漁業との調整が図られるようサポート

